

株主の皆様へ

第76期 事業報告書

2014年12月1日▶2015年11月30日

Contents

トップメッセージ / 代表取締役社長 岩城 修
～10年後の創業111周年に向けて
「策揃え」企業への転換を遂げてまいります。～…P 1

セグメント別の概況 …P 5

小さな社会貢献活動への取り組み …P 7

連結財務諸表 …P 8

会社情報 / 株主メモ …P 9

株主様アンケート …P 10

株式情報 …裏表紙

イワキ株式会社

証券コード：8095

■ 経営の基本方針 ■

当社グループは、
社業を通じ社会に貢献することに
誇りと喜びを持ち、
「お客様(社会)を大切に思う心を常に忘れない会社」
を目指し、
提供する商品・サービスを通じ、
お客様と常に「感謝し、感謝される関係」を築き、
共存共栄することによって、
顧客企業の発展と
株主の利益拡大に寄与するとともに、
社会その他すべての関係者への
責任を果たし続けることを
経営の基本方針としております。

表紙の写真について



— 目白 —
水元公園(東京都葛飾区)
表紙の写真は、川嶋次男様(東京都葛飾区在住)の
作品をご提供いただきました。

10年後の創業111周年に向けて「策揃え」企業への転換を遂げてまいります。

■ イワキ・グループの事業概要と特色 ■

開発・製造から販売まで、原料から製品
までの幅広い事業活動が特色です。

1914年7月に医薬品卸商として創業した当社は、
100年を超える歩みの中で業容を拡大し、現在では医
薬品および医薬品原料、化粧品原料、化学品、食品原
料まで、幅広い分野にわたるグループ事業を展開して
います。卸売業である当社の傘下に製造子会社を設立
し、研究開発・製造から販売までの業務と、原料から
製品までの取扱いによる幅広い活動を行っている点が、
当社グループの特色です。

● 事業セグメントの再構成

このたび当社は、創業111周年を迎える2025年11
月期へ向けてグループ中長期ビジョン「Vision “i-111”
(アイトリプルワン)」を策定し、その達成を目指す第1
段階として、2018年11月期を最終年度とする3ヵ年
中期経営計画を始動しました。

同計画では、各事業をプロダクトごとのバリューチェー
ンに従って統合・運営すべく、新たな組織体系を採用し、
当社グループの事業セグメントを「医薬・FC(ファイン
ケミカル)」「HBC(ヘルス&ビューティケア)」「化学品」
「食品」の4つに再構成しました。これにより当社グルー

プは、お客様の課題解決に向けた様々なニーズに対し、
グループのあらゆる機能で応える「策揃え」を実現して
いきます。

医薬・FC事業は、医薬品・医薬品原料の製造および
販売、体外診断薬・研究用試薬の卸売、医療機器の販
売などを行っています。

HBC事業は、化粧品原料・機能性食品原料の販売、
一般用医薬品および関連商品の卸売、化粧品の通信販
売などを行っています。

化学品事業は、表面処理薬品・電子工業薬品・化成
品の製造および販売などを行っています。

食品事業は、食品原料の製造および販売などを行っ
ています。

なお、グループ中長期ビジョン「Vision “i-111”」
および3ヵ年中期経営計画の詳細については、次ペー
ジ以降でご説明申し上げます。

■ 当期の連結業績を振り返って ■

増収を果たしながらも、利益面は前期実績
を下回り、最終損失を計上しました。

当期の国内景気は、企業収益や雇用情勢に改善の動
きが見られ、緩やかな回復基調で推移しながらも、輸
入原材料価格の上昇や、中国をはじめアジア諸国経済



代表取締役社長 岩城 修

の下振れが懸念される状況となりました。その中で当
社グループは、海外サプライヤーとの連携強化、自社
企画による商品の開発、安定供給体制確保のための設
備投資など、多様化・高度化するお客様のニーズへの
対応力を強化してまいりました。

主要事業の概況については、再構成前の旧事業セグ
メントに基づき、以下ご報告申し上げます。

医薬品事業は、ジェネリック医薬品の安定供給に向
けて、生産体制の整備と製造原価の低減を進めつつ、
医療機関や調剤薬局への積極的な情報提供に努めたこ
とで、医療用医薬品が好調に推移しました。また一般
用医薬品および関連商品も、インバウンド需要の拡大

などを受けて伸長しました。

医薬品原料・化粧品原料事業は、医療用医薬品原料の主力である解熱鎮痛剤原料が販売を伸ばした他、鎮うん剤原料などのジェネリック医薬品原料も好調を示し、一般用医薬品原料は、鎮咳去痰剤原料や血管収縮剤原料が堅調に推移しました。化粧品原料は、提案強化などの積極的な営業活動が、主力原料の新規採用や受託原料の伸びにつながりました。

化成品事業は、国内の車載部品向け薬品が自動車生産台数の減少を受け、海外ではチップ部品向け薬品がアジアにおけるスマートフォンやタブレット端末の生産鈍化による影響から、いずれも低調となりました。

食品原料・機能性食品事業は、食品原料の国内仕入品が拡大し、乾燥野菜や冷凍野菜などの輸入品も伸長しました。サプリメント原料は、取扱い原料の新規採用と既存品の拡大により、好調を維持しました。

結果として連結業績は、売上高が554億2千2百万円（前期比2.4%増）と増収を遂げたものの、利益面

では売上原価が上昇し、また子会社における繰延税金資産の取崩しなどの影響もあり、営業利益5億5千9百万円（同37.2%減）、経常利益6億9千4百万円（同27.8%減）、当期純損失1億4千3百万円（前期は当期純利益4億9千6百万円）となりました。

3ヵ年中期経営計画をスタート

3年間で中長期ビジョンの基礎を築き、新組織体系のもと、着実な成長を目指します。

グループ中長期ビジョン「Vision “i-111”」は、2025年11月期の連結業績における「連結売上高1,000億円」「No.1マーケットシェア」「ROIC（投下資本利益率）10%以上」を数値目標に掲げ、①「策揃え」企業になる（Intelligence）、②海外市場への事業展開を図る（International）、③「ナンバーワン」製品・事業に注力する（Innovative）、④資本効率を意識

した事業運営を行う（Investment）の4つの基本戦略を遂行していきます。

その第1段階としてビジョンの基礎を築く3ヵ年中期経営計画（2016年11月期～2018年11月期）は、「策揃え」を実現する新組織体系のもと、計画最終年度の連結業績における「売上高600億円」「営業利益10億円」「ROIC4.0%以上」の達成を目指します。

● 2016年11月期の取り組みと業績予想

医薬・FC事業は、医療用医薬品のさらなる生産合理化と安定供給体制の確立に取り組むとともに、DPC病院や調剤薬局へのきめ細かな情報提供を行い、売上拡大を目指します。医療用医薬品原料においても、既存品および開発品の積極的な情報提供を通じて、新規の採用獲得と顧客開拓を推進します。

HBC事業は、一般用医薬品関連商品で自社企画PB商品の提案と異業種小売企業の新規開拓に努め、機能

性食品原料および化粧品原料では、自社原料の開発とOEMの提案に注力します。また当事業全体として、海外売上高の拡大に取り組んでいきます。

化学品事業は、表面処理薬品の販売において、プリント配線板向けおよび電子部品向けの新製品に注力し、海外では製造拠点の生産拡大と販売会社の売上増加に向けて人員配置の見直しを図ります。

食品事業は、お客様における商品開発の効率化や生産コスト低減などの問題解決に主眼を置き、食品原料の拡販と新規提案、受託加工を展開していきます。

以上の取り組みをもとに、2016年11月期の連結業績は、売上高560億円、営業利益8億5千万円、経常利益9億円、当期純利益4億5千万円を目指します。

株主の皆様への利益還元

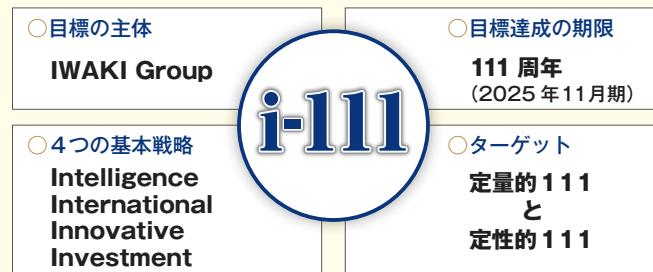
強固な事業基盤を構築し、持続的な成長と企業価値の向上を実現してまいります。

株主の皆様への利益還元については、将来にわたる経営基盤の強化と収益の向上を図りつつ、安定的かつ継続的な成果の配分を行うことを基本方針としています。これに基づき、当期の期末配当は予定通り1株当たり3円とさせていただき、中間配当と合わせた年間配当額は同6円となりました。

当社グループは今後、中長期ビジョンおよび中期経営計画の取り組みを通じて、強固な事業基盤を構築し、持続的な成長と企業価値の向上を実現してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中長期ビジョン＜Vision “i-111”＞

Vision “i-111”では「誰が」「いつまでに」「何を」「どのように」達成するかを定義。



創業111周年へ向け、当社史上最もストレッチされた目標値を設定。



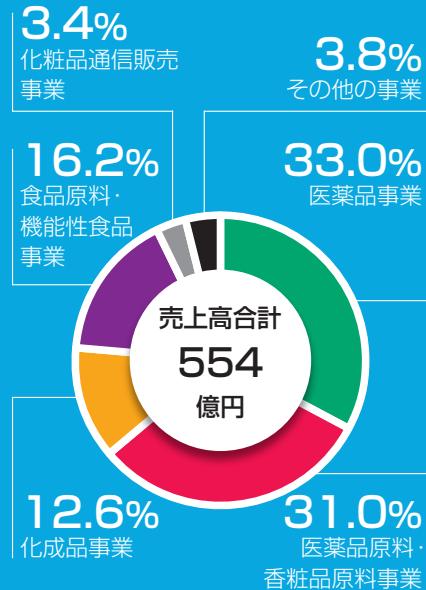
基本戦略 ▶ 中長期ビジョンの達成へ向けて4つの基本戦略を立案。



セグメント別の概況

当社グループは、医療用医薬品・一般用医薬品の製造および卸売、動物用医薬品・体外診断用医薬品・研究用試薬の卸売、保険薬局の経営、医薬品原料・化粧品原料・電子工業薬品・表面処理薬品・化成系・食品原料・プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売、表面処理薬品原料等・サプリメント原料の販売等の事業活動を展開しております。

■ 売上高構成比 (2015年11月期)



医薬品事業

■ 事業内容

医薬品の製造・販売、およびバイオ関連製品などの販売を行っております。

■ 事業会社

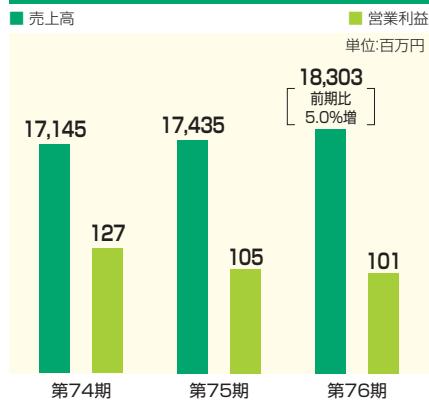
- イワキ(株)
- 岩城製薬(株)
- ホクヤク(株)
- (株)エイ・エム・アイ
- (株)パートナー・メディカル・システムズ



● 当期のポイント

- ジェネリック医薬品は、抗真菌剤、アトピー性皮膚炎治療剤、緩下剤が新規採用もあり好調に推移。
- 一般用医薬品および関連商品は、インバウンド需要の拡大もあり、販売が順調に拡大。

売上高および営業利益の推移



医薬品原料・化粧品原料事業

■ 事業内容

医薬品原料および化粧品原料の製造・販売を行っております。

■ 事業会社

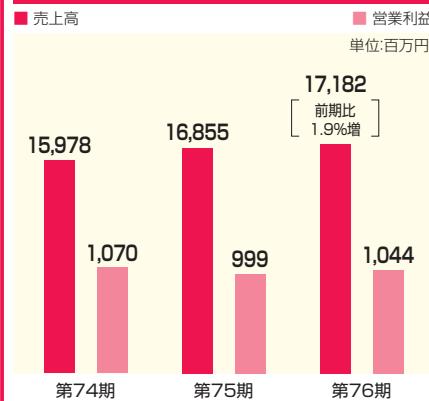
- イワキ(株)
- 岩城製薬(株)



● 当期のポイント

- 医療用医薬品原料は、ジェネリック医薬品向け原料が好調に推移。
- 化粧品原料は、インバウンド需要による最終製品の需要増もあり、堅調に推移。

売上高および営業利益の推移



化成系事業

■ 事業内容

表面処理薬品の製造・販売、化学品原料および樹脂添加剤などの販売を行っております。

■ 事業会社

- イワキ(株)
- 岩城製薬(株)
- メルテックス(株)



● 当期のポイント

- 国内では、半導体向け薬品が好調に、車載部品向け薬品が低調に推移。
- 海外では、チップ部品向け薬品が低調に推移。

売上高および営業利益の推移



食品原料・機能性食品事業

■ 事業内容

食品原料およびサプリメント原料などの製造・販売を行っております。

■ 事業会社

- イワキ(株)
- ポーエン化成(株)



● 当期のポイント

- 食品原料は、輸入原材料価格の上昇圧力もあり低調に推移。
- サプリメント原料は、食品の新たな機能性表示制度に伴う需要とインバウンド需要により好調に推移。

売上高および営業利益の推移



化粧品通信販売事業

■ 事業内容

化粧品の通信販売などを行っております。

■ 事業会社

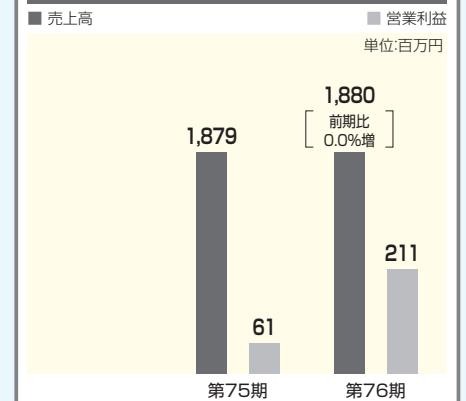
- アプロス(株)



● 当期のポイント

- 定期購入者の利便性向上に向けたWebサイトの全面リニューアルを実施。
- 主力の化粧下地を中心に伸長。新規商品の販売も順調に推移。

売上高および営業利益の推移



+ 献血活動



6月に大阪医薬品元卸商組合と大阪薬業クラブの共催で行われた献血に、当社の社員も参加いたしました。また10月に東京赤十字センターのご協力のもと、本社にて献血活動を実施いたしました。

赤い羽根共同募金



2016年春入社予定の内定者が、赤い羽根共同募金活動を行いました。共同募金は社会課題や様々な地域課題を解決するための活動を行う団体に対して助成されます。

交通安全表彰

街頭配置活動に参加したことを受け、中央警察署から表彰されました。表彰式は6月17日に中央警察署講堂内で行われ、50名を超える企業や町会の方々が出席し、それぞれ中央警察署所長から感謝の言葉と共に表彰状を贈られました。

街頭配置活動は交差点での事故防止や信号無視防止を呼びかける活動です。



交通量の多い交差点での街頭配置

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前期末 2014年11月30日現在	当期末 2015年11月30日現在	増減額
資産の部			
流動資産	27,148	25,254	△1,894
固定資産	12,449	12,786	336
資産合計	39,598	38,040	△1,557
負債の部			
流動負債	18,633	16,774	△1,858
固定負債	3,703	3,907	204
負債合計	22,336	20,682	△1,654
純資産の部			
株主資本	16,235	15,926	△308
その他の包括利益累計額	1,026	1,432	405
純資産合計	17,261	17,358	96
負債・純資産合計	39,598	38,040	△1,557

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

1 資産合計

資産合計は前期末比1,557百万円減の38,040百万円となりました。総資産の減少の主な理由は、受取手形及び売掛金の減少1,953百万円、投資有価証券の増加552百万円などによるものです。

2 負債合計

負債合計は前期末比1,654百万円減の20,682百万円となりました。負債合計の減少の主な理由は、短期借入金金の減少1,442百万円等によるものです。

3 純資産合計

純資産合計は前期末比96百万円増の17,358百万円となりました。純資産の増加の主な理由は、利益剰余金の減少306百万円、その他有価証券評価差額金の増加387百万円などによるものです。

4 売上高

売上高は、後発医薬品使用促進策などを追い風にジェネリック医薬品の製品・原料が好調に推移、またインバウンド需要の増加により免税店向け商品の卸売、化粧品・健康食品原料の販売も増加し、前期比2.4%増の55,422百万円となりました。

5 営業利益・経常利益

売上高は大幅に伸びましたが、売上原価および販売費及び一般管理費が増加したことから営業利益は前期比37.2%減の559百万円、経常利益は前期比27.8%減の694百万円となりました。

6 当期純利益

化成品事業子会社において繰延税金資産346百万円を取崩したことにより、当期純損失は143百万円となりました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前期 2014年12月1日から 2014年11月30日まで	当期 2014年12月1日から 2015年11月30日まで	増減額
売上高	54,145	55,422	1,277
営業利益	890	559	△331
経常利益	962	694	△268
税金等調整前当期純利益	948	669	△278
法人税、住民税及び事業税	464	442	△22
法人税等調整額	△12	371	383
少数株主損益調整前当期純利益	496	△143	△640
当期純利益	496	△143	△640

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 会社概要

社名	イワキ株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号
創業	1914年(大正3年)7月10日
設立	1941年(昭和16年)9月20日
資本金	25億72百万円(東証1部上場)
社員数	(単体) 266名 (連結) 908名

主な事業内容 **医薬品事業**
 医療用医薬品・一般用医薬品の製造および卸売
 動物用医薬品・体外診断用医薬品・研究用試薬の卸売
 保険薬局の経営
医薬品原料・化粧品原料事業
 医薬品原料・化粧品原料の製造および販売
 化粧品OEM製造受託
化成品事業
 電子工業薬品・表面処理薬品・化成品の製造および販売
 表面処理薬品原料等の販売
食品原料・機能性食品事業
 食品原料の製造および販売
 サプリメント原料の販売
 サプリメントOEM製造受託
 化粧品通信販売事業
 化粧品の通信販売
その他の事業
 医療機器等の販売
 プリント配線板等の製造プラントの製造および販売

主な事業所所在地 大阪支社 大阪府大阪市
 富山支店 富山県富山市
 名古屋支店 愛知県名古屋市
 福岡支店 福岡県福岡市

主要取引銀行 三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行

● 取締役および監査役

(2016年2月26日現在)

代表取締役社長	岩城 修	
代表取締役副社長	岩城 慶太郎	常勤監査役 関根 和夫
常務取締役	藤田 久	常勤監査役 山口 誠
常務取締役	大森 伸二	監査役 吉田 孝
常務取締役	今野 高章	監査役 守山 淳
取締役	熱海 正昭	
取締役	伊藤 龍雄	
取締役	古橋 勝美	
取締役	越智 大藏	
取締役	川野 毅	

事業年度	毎年12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年11月30日
中間配当金受領株主確定日	毎年5月31日
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話：0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.iwaki-kk.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

皆様方からのアクセスを
お待ちしております！ <http://www.iwaki-kk.co.jp/>

当社のWebサイトでは、事業内容やIR情報など様々な情報をご覧いただけます。

株式に関するお手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ▶特別口座から一般口座への振替請求 ▶単元未満株式の買取(買増)請求 ▶住所・氏名等のご変更 ▶特別口座の残高照会 ▶配当金の受領方法の指定* 	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話：0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ▶郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ▶支払期間経過後の配当金に関するご照会 ▶株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	手続き書類のご請求方法 ●音声自動応答電話によるご請求 電話：0120-244-479 (通話料無料) ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ▶郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ▶支払期間経過後の配当金に関するご照会 ▶株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話：0120-232-711 (通話料無料)
▶上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

株主の皆様へアンケートのお願い

当社では、株主の皆様の声を伺い、株主様とのコミュニケーションの充実を図っていきたくと考えております。お手数をおかけしますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

【株主の皆様へのアンケート】該当するものを○で囲んでください。

Q1. 当社の株式を保有された理由は何ですか？

- ① 安定配当 ② 株価 ③ 事業内容
 ④ 経営理念 ⑤ 収益性 ⑥ 将来性
 ⑦ 財務内容 ⑧ 証券会社の勧め ⑨ 相続
 ⑩ その他()

Q2. 当社の株式の保有期間はどのくらいですか？

- ① 1年未満 ② 1年～3年未満 ③ 3年～5年未満
 ④ 5年～10年未満 ⑤ 10年以上

Q3. 当社に関する情報収集の手段は具体的に何ですか？

- ① 証券会社 ② 四季報 ③ 日経会社情報
 ④ 新聞・雑誌記事(媒体名:)
 ⑤ 当社ホームページ
 ⑥ インターネット情報(サイト名:)
 ⑦ その他()

Q4. 「株主の皆様へ」(報告書)について、ご感想をお聞かせください。

Q5. 当社に対し今後期待されることは何ですか？

Q6. その他、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

株式情報

● 株式の状況

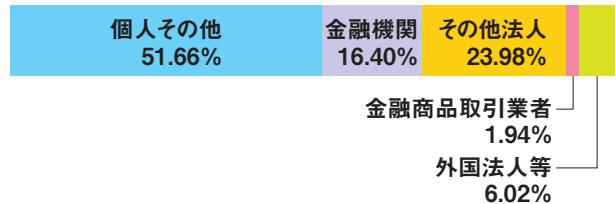
発行可能株式総数	136,000,000株
発行済株式の総数(自己株式388,373株を含む)	34,147,737株
株主数	5,282名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治通商株式会社	2,007	5.94
有限会社ケーアイ社	1,764	5.22
株式会社ヘルスケア・キャピタル	1,663	4.92
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,188	3.52
岩城 修	970	2.87
イワキ従業員持株会	875	2.59
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	797	2.36
株式会社大阪ソーダ	658	1.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	623	1.84
株式会社みずほ銀行	543	1.60

(注)持株比率は自己株式(388,373株)を控除して計算しております。

● 株式分布状況(所有者別分布状況)



(注)持株比率は自己株式(388,373株)を控除して計算しております。



〒103-8403

イワキ株式会社

東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号

電話：03-3279-0481



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。

株主の皆様へアンケートのお願い

郵便はがき

料金受取人払郵便

日本橋局
承認

9238

差出有効期間
平成28年5月
31日まで

切手不要

1 0 3 8 7 9 0

9 2 7

東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号

イワキ株式会社 人事総務部 行



該当する□内に✓(チェックマーク)をおつけください。

年齢	<input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
ご職業	<input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員・団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 専門職(医者・弁護士等) <input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 主婦・パート <input type="checkbox"/> 無職・年金生活者 <input type="checkbox"/> その他()
お住まいの地域	<input type="checkbox"/> 北海道 <input type="checkbox"/> 東北 <input type="checkbox"/> 関東 <input type="checkbox"/> 北陸 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 近畿 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 四国 <input type="checkbox"/> 九州・沖縄 <input type="checkbox"/> その他地方

※ 本アンケートにご記入頂きました内容は統計的に集計し、第三者に開示することはいたしません。